

自治体・協議会名	豊橋市地域公共交通活性化推進協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

・バスの利便性向上のため、路線バスへのICカードの導入やコミュニティバスへのキャッシュレス決済導入等支援を行われていることを評価します。

・例年実施している「夏休み小学生50円バス」に加え「公共交通をつかったオリジナルツアーの募集」を実施するなど、東三河8市町村及び交通事業者と連携し、地域公共交通の利用促進に資する取組を継続的に行っていることを評価します。

また、東三河地域MaaSの実証実験など、東三河8市町村及び交通事業者と連携して公共交通の利便性向上に向けた取組を実施していることを評価します。

・運転士就職希望者と乗合事業者とのマッチング支援を継続して実施し、また、新たな取組として運転体験会を実施したことで、運転士に対する理解を深め、公共交通の維持に向け取り組んだことを評価します。

・フィーダー系統を含む地域生活バス等の運行について、地域運営団体による主体的な取組が継続されていること、地域団体の活動を支えるために地域運営団体に寄り添った支援が継続されていることを確認しました。

また、柿の里バスについて、地域の要望を基に関係者が連携しルート・ダイヤ変更等の見直しを実施し、住民の利便向上、利用者増加につなげたことを評価します。

・カーフリーデーイベント、電車・バス沿線周遊マップの制作、子育て世帯をターゲットとした利用促進等、公共交通利用への周知・啓発への取組を継続的に実施していることを確認しました。

期待する取組

・都市交通体系の構築にあっては、都市・地域総合交通戦略と地域公共交通計画を一体的に策定するメリットを生かし、路面電車や主要なバス路線といった公共交通幹線軸の強化や集約型都市構造を目指すための拠点整備等を図られることを期待します。

・東三河交通圏内の鉄道・バスへの交通系ICカードの導入・利用可能範囲拡大に際して、関係市町村で連携した周知を行うとともに、今後はそれにより得られるデータを活用して利用状況や需要の分析を行い、さらなる利用促進に繋げることを期待します。

・引き続き、地域生活バス等の運行継続に向けて地域の主体的な取組が継続されること、地域ごとの課題や特性等を勘案しながら、地域に寄り添った支援が継続されることを期待します。